

4 指導案例

学んで防ごう，消費者トラブル（本時4／6）

(1) 本時の目標

- ・消費者トラブルの予防法や対処法について考えることを通して，自分や家族の消費生活を見直そうとする。 【関心・意欲・態度】
- ・消費者トラブルの予防法や対処法について考え，工夫することができる。 【工夫】
- ・消費者トラブルの予防法や対処法を理解することができる。 【知識・理解】

(2) 準備・資料

- ・映像資料「消費者トラブル(参)英傑？」(名古屋市消費生活センター)，パソコン，プロジェクタ，ワークシート，資料①②③

(3) 指導過程

段階	学 習 活 動	教師の支援及び評価
導 入	<p>1 消費者トラブルの現状を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アポイントメントセールス</li> <li>・キャッチセールス</li> <li>・マルチ商法</li> <li>・ワンクリック詐欺</li> </ul> <p>2 学習課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">学んで防ごう，消費者トラブル</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県内の消費者トラブルについて確認する。</li> <li>・インターネットの普及とともに，ネットショッピングやオンラインゲームなどにおけるトラブルが増加していることも確認する。</li> </ul>
展 開	<p>3 消費者トラブルの予防法と対処法について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「消費者トラブル(参)英傑？」を見て、消費者トラブルの予防法と対処法を考えよう！</div> <p>(1) 映像資料（前半：4分）を見て，事例の問題点や対処法について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【話し合いの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秀吉は何がいけなかったか。</li> <li>○ 業者は何がいけなかったか。</li> <li>○ 秀吉はこれからどうすればよいか。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪しいサイトを見ようとしたことがいけない。</li> <li>・年齢を偽ったのがいけない。</li> <li>・慌てて電話をしているところがダメだ。</li> <li>・業者側は消費者の意思確認をしていない。</li> </ul> <p>(2) グループとしての意見を発表し，全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪しいと思ったら見ないし，クリックしない。</li> <li>・請求は無視して，相手に連絡をしない。</li> <li>・電話回線やWi-Fiにフィルタリングをかける。</li> <li>・警察に相談する。</li> </ul> <p>(3) 映像資料（後半：4分）を見て，予防法や対処法について確認し，公的な相談機関を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者庁                      ・国民生活センター</li> <li>・消費生活センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンやスマートフォンを使用する人であれば，誰にでも起こりうるような映像資料を基に考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>映像資料：「消費者トラブル(参)英傑？」 制作：名古屋市消費生活センター <a href="http://www.seikatsu.city.nagoya.jp/">http://www.seikatsu.city.nagoya.jp/</a></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートと資料①を配付する。</li> <li>・被害者側にも落ち度がある点に気付かせる。</li> <li>・技術分野「D 情報に関する技術」の学習内容を想起させ，技術的な対策についても考えさせる。</li> <li>・業者の悪質な手口や対処法を把握させることに加え，公的機関に相談する方法についても理解させる。</li> </ul> <p>☆消費者トラブルの対処法について考え，工夫しているか。 (発言，ワークシート)【工】</p> <p>☆消費者トラブルの予防法や対処法を理解することができたか。 (ワークシート)【知】</p>

ま と め	<p>4 本時の学習を振り返り, 次時の学習の見通しをもたせる。</p> <p>(1) 本時で学んだことをワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 次時の学習に見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の失敗「通信販売」(資料②)を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々にまとめさせ, 数名発表させる。</li> </ul> <p>☆消費者トラブルの対処法を考えることを通して, 自分や家族の消費生活を見直すことができたか。</p> <p>(発言・ワークシート)【関】【工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信販売の失敗について考えさせることで, 次時のクーリングオフ制度の学習へとつなげる。</li> </ul>
-------------	---	---

(4) 評価

- ・消費者トラブルの予防対処法について考え, 自分や家族の消費生活を見直そうとしている。
- ・消費者トラブルに関する消費者と業者の問題点を確認した上で, トラブルの対処法を考え, 工夫することができる。
- ・消費者トラブルの予防法や対処法を理解することができる。